指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム こだなか	評価対象年度	平成23年度		
	・事業者名 社会福祉法人 中川徳生会・代表者名 理事長 高橋 栄治郎・住所 横浜市都筑区南山田2丁目39番35号	評価者	高齢者事業推進課長		
指定期間	平成23年4月1日~平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課		

_	电架中链
•,	击 夫 丰 烃
	争表失相

指 定期间	平成23年4月1日~平成28年3月31日						
2. 事業実績							
2. 争未美根 利用実績 ①特別養護老人ホーム事業(入所定員 50人)							
147,147,517	在籍者数 48人(平成24年3月31日現在:入院等不	在者を含む)					
	介護度 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護	隻5 その他 合計					
	利用者数	19 0 48					
	②译式人获声类/译式中号 00 1 7月)						
	②通所介護事業(通所定員 20人/日) 年間延べ利用者数 3,419人:定員に対する稼働率	66 2506					
	4月 5月 6月 7月						
		88 319 307					
	10月 11月 12月 1月	2月 3月					
	延べ利用者数 252 276 277 25	33 254 246					
	③短期入所事業(通所定員 2人)	05.004					
	│ <u>年間延べ利用者数 702人:定員に対する稼働率</u> │ 4月 5月 6月 7月						
		50 67 55					
	10月 11月 12月 1月						
		93 57 56					
		<u> </u>					
	④居宅介護支援事業 						
	│ 給付管理者数(平成24年3月分) │ 介護度 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介語	隻5 その他 合計					
	管理者数 11 8 4 3	2 0 28					
	⑤地域包括支援センター事業						
	相談件数及び訪問件数	W (I I - I - I - I - I - I - I -					
		数(左の再掲)					
	<u>実相談者数 延べ相談回数 実訪問者数</u> 283 1,312 25	延べ訪問回数					
	<u> </u>	20 1,000					
	介護保険サービス 福祉サービス 権利擁護	その他相談					
	,	17 156					
	プラン作成件数						
	介護予防プラン 市単サービスプラン						
	総件数 うち委託分 総件数 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
	250 48 1						
収支実績	①特別養護老人ホーム事業						
	(収入)	(支出)					
	介護料収入 154,353,842	人件費 109,640,162					
	利用者等利用料収入 31,229,610	事務費 10,912,919					
	その他の事業収入 3,896,453	事業費 44,110,973					
	合計 189,479,905	合計 164,664,054					
	②通所介護事業	(収支差額) 24,815,851					
	(収入)	(支出)					
	介護料収入 23,858,491	人件費 16,407,114					
	利用者等利用料収入 2,572,500	事務費 1,528,253					
	その他の事業収入 448,464	事業費 5,945,266					
	合計 26,879,455	合計 23,880,633					
		(収支差額) 2,998,822					
	③短期入所事業	(1.11)					
	(収入)	(支出)					
	介護料収入 5,741,376	人件費 2,778,735					
	利用者等利用料収入 1,859,299	事務費 427,705					
	その他の事業収入 141,831 合計 7,742,506	事業費1,706,171合計4,912,611					
	合計 7,742,506	合計 4,912,611 (収支差額) 2,829,895					
		(水人左帜) 2,023,830					

	④居宅介護支援事業				
	(収入)		(支出)		
	介護料収入	2,300,136	人件費	3,175,209	
	利用者等利用料収入	0	事務費	142,707	
	その他の事業収入	13,146	事業費	0	
	合計	2,313,282	合計	3,317,916	
			(収支差額)	-1,004,634	
	①~④合計(⑤地域包括支援	センター事業は別途委託	のためここでは計上せず)		
	(収入)		(支出)		
	介護料収入	186,253,845	人件費	132,001,220	
	利用者等利用料収入	35,661,409	事務費	13,011,584	
	その他の事業収入	4,499,894	事業費	51,762,410	
	合計	226,415,148	合計	196,775,214	
			(収支差額)	29,639,934	
	⑤地域包括支援センター事業	É			
	(収入)		(支出)		
	介護料収入	9,648,666	人件費	16,379,127	
	その他の事業収入	0	事務費	1,513,701	
	経常経費補助金収入	18,066,582	事業費	173,754	
	合計	27,715,248	合計	18,066,582	
			(収支差額)	9,648,666	
サービス向上の取組	管理栄養士と連携して 利用	者の嗜好調査を実施	その結果を献立に反映させて	ている。月1回は全国各地の	
	管理栄養士と連携して、利用者の嗜好調査を実施し、その結果を献立に反映させている。月1回は全国各地の 名物料理を「ご当地メニュー」として提供するほか。元日や母の日などには「行事食」として特別メニューを提供し、				
	好評を得ている。				
	「身体拘束廃止委員会」が中心となり、介護・看護スタッフ、ケアマネジャーが協力連携することにより、前運営法				
	人が行っていた身体拘束を廃止することができた。				
	「感染症対策委員会」が中心となり、職場内の感染症予防対策を実施し、各フロアには感染症発生時に拡大を防ぐため、迅速に糞便や嘔吐物を処理するための「感染症対策グッズ」を配置している。				
	毎に1回、利用者の家族向けに施設の運営体制に係る説明会を実施し、意見や要望、苦情などを受け付けた。				
	十七1日、19月1日マネ水門りに地鉄ツ建古伊門に所る肌切云で大地し、志光(女主、古旧などで文刊刊)た。				

3. 評価 分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	×2	4	8	
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか				
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか				
な	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか		4	8	
業務実施		感染症への対策は適切に行われているか	$\times 2$			
施	(評価の理由) 管理栄養士と連携して、利用者の嗜好調査を実施し、その結果を献立に反映させるとともに、月1回は全国各地の名物料理を「ご当地メニュー」と して提供したり、元日や母の日などには「行事食」として特別メニューを提供し、好評を得たことが評価できる。 週2回の嘱託医による回診を中心に、定期的な検査等を実施し、健康状態を把握・管理しており、また看護スタッフ・介護スタッフが連携して状態 変化の兆候を見逃さないようにしている点が評価できる。					
	効率的・効果的な支 出	計画に基づく適正な支出が行われているか	×1	3	3	
		支出に見合う効果は得られているか				
ul uz		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか				
収支計	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	×1	3	3	
画		収入増加のための具体的な取組が為されているか	^1			
実績	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	×1	3	3	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか	^1			
	(評価の理由) どの事業に関しても	、利用者数、稼働率、収支実績などについて、前運営法人による昨年度実績と大差はない。	,			

サービス向上及び業	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	$\times 2$	3	6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか	^2			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか		4	8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか	$\times 2$			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか		4		
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)	$\times 2$		8	
業務改		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
善	法人理念である「幸 ビスを提供している。 「身体拘束廃止委員 することができた点が	(評価の理由) 法人理念である「幸せの創造」と、施設の基本理念である「向上心と創意工夫により、ご利用者さまの生活を第一に考えた支援をする」を基にサービスを提供している。 「身体拘束廃止委員会」が中心となり、介護・看護スタッフ、ケアマネジャーが協力連携することにより、前運営法人が行っていた身体拘束を廃止することができた点が評価できる。 年に1回、利用者の家族向けに施設の運営体制に係る説明会を実施し、意見や要望、苦情などを受け付けた点が評価できる。				
		必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか				
	適正な管理体制の 構築	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	$\times 1$	3	3	
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか				
	担当者のスキルアッ プ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして 浸透しているか	$\times 2$	3	6	
組	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか (人員配置、マニュアル、訓練等)	×1	3	3	
織管		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
理体		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
制	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	×1	3	3	
		個人情報の管理は適切に行われているか	^1			
	(評価の理由) 新任者に対して1年間のOJT(基本編3ヶ月、応用編9ヶ月)を実施している。特に最初の1ヶ月は、担当者がマンツーマンで付くようにしている。 外部研修として法人主催の研修に参加するほか、内部研修では主に施設スタッフが講師となって勉強会を実施している。 施設長を統括管理責任者として事故防止委員会を設置し、事故の分析や改善策の検討、事故防止策の周知、マニュアルの作成、事故防止の めの研修を実施している。「服薬介助マニュアル」を作成し、改めて手順・方法を統一して事故防止に努めた。					
	施設·設備の保守管 理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施 しているか		4	8	
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。	×2			
適正		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持して いるか				
止な施設管理		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか				
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか				
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	С
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

前運営法人から施設を引き継ぎ、指定管理1年目であったものの、従来からの運営方法や手段を改善するなど、施設の適切な運営に努めた点が評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、施設の適切な運営に努めること。 地域との交流についても積極的に行うこと。